

令和2年度ジャパンリンクセンター運営実績

令和4年3月31日
ジャパンリンクセンター運営委員会

1. 委員会、メンバーミーティングの実施

(1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計4回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した。

(2) メンバーミーティング

令和3年12月23日にメンバーミーティングをオンラインにて開催した。

2. サービスの開発、運用および管理

(1) システム開発、改修等

次の開発、改修、調査等を行った。

① 外部連携機能（OAI-PMH 情報提供機能）の認証機能追加

正会員・連携機関向けの情報提供サービス「OAI-PMH 機能」について、これまで IP アドレスが登録された端末以外からは利用できなかったが、API キーによる認証機能を追加し、端末を問わず利用できるよう改修した。令和3年4月21日リリース。

② 情報登録機能の改善（項目統一、Crossref・DataCite への登録処理の拡充等）

- ・ 会員ページより DOI・メタデータ登録を行う際、Web 画面による登録と XML ファイルをアップロードする形での登録において登録項目に差異があったため、統一した。令和3年6月30日リリース。
- ・ JaLC から Crossref へのメタデータ登録処理を拡充し、英語以外の著者名データや論文番号データについて Crossref へ登録可能となった。令和3年6月30日リリース。
- ・ JaLC から DataCite へのメタデータ登録処理について、作成者、寄与者に関する所属機関情報、研究者 ID、言語属性等の拡充、助成機関 ID タイプの拡充等を行った。令和4年1月26日リリース。
- ・ JaLC に登録できるメタデータを拡充し、所属機関 ID（ROR 等）の登録が可能となった他、助成情報の登録方法の変更、登録可能な属性値の追加等を行った。令和3年1月26日リリース。

③ REST API 機能のリリース

新たな情報提供機能として、JaLC が管理している DOI やそのメタデータ（書誌情報等）を提供する JaLC REST API をリリースした。誰でも利用でき、DOI プレフィックスリストや、プレフィックス毎の DOI リスト、各 DOI に係るメタデータについての情報を JSON 形式で取得することが可能。対象となるのは JaLC を通して登録された JaLC、Crossref、DataCite の DOI とそれらに係るデータである。令和 3 年 12 月 22 日リリース。

④ JaLC コンテンツ検索機能拡充

メタデータのオープン化に向け、第三者へ向けた抄録情報公開および利用許諾の表示を含む JaLC コンテンツ検索機能の拡充を行った。令和 4 年 2 月 28 日リリース。

⑤ 情報登録機能の改善

- DOI コンテンツ検索、DOI Citation Formatter において、本文言語の設定次第で出力される情報が欠けてしまう状態であったため、言語コードに関する処理を修正し改善を図った。令和 3 年 6 月 30 日リリース。
- ④の「JaLC コンテンツ検索機能拡充」に伴い、OAI-PMH 機能および「書誌情報 XML_DOI 名検索機能」において、「抄録ライセンスフラグ」の出力を開始した。

⑥ データクレンジング

昨年度に引き続き、外部との不整合、メタデータチェック漏れ、内部構造の問題の観点から JaLC システムの DB 内に存在する不具合データの実態調査、影響機能の調査等を実施した。

(2) Web サイトの改善

JaLC が運営している Web サイトについて下記の通り改善等を行った。

① JaLC サイトメニュー構成等の見直し

JaLC の Web サイト（日本語）について、主にメニュー構成や内容を見直し、JaLC に関心のある人々が必要な情報にアクセスしやすい Web サイトとなるようリニューアル作業を行った。また、DOI や JaLC に関する基礎知識といった、初心者向けの内容も追加した。令和 4 年 4 月以降サイトリニューアル予定。

② JaLC Web サイト掲載資料の英訳業務

JaLC の Web サイト（英語）充実のため、掲載している一部資料（参加規約、FAQ 等）の英訳作業を行った。令和 4 年 4 月以降公開予定。

(3) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施した。令和 4～5 年度のシステム運用・ユーザサポート業務の外部委託について入札を行った結果、いずれも現行業者が落札し、継続して運用を委託することとなった。

3. DOI 登録機関業務

(1) DOI 登録業務

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出しを行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 2 のとおりとなった。

表 1. 会員数および DOI 登録累計件数の推移（令和 4 年 3 月末時点）

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 元年度	R2 年度	R3 年度
正会員数	21	25	29	37	43	49	57	63
準会員数	944	1,131	1,518	1,814	2,060	2,257	2,434	2,681
DOI 登録件数 (内訳)	3,023,504	3,189,377	3,457,584	5,330,029	8,155,335	8,529,611	8,790,850	9,439,402
・論文	2,789,095	2,937,916	3,193,160	4,941,494	6,701,165	7,028,298	7,240,670	7,563,202
・書籍、報告書	234,409	248,488	261,175	309,559	1,317,654	1,341,739	1,369,414	1,524,084
・研究データ	-	1,545	1,719	75,875	133,152	156,000	176,019	346,689
・e ラーニング	-	1,427	1,520	1,891	2,120	2,321	3,357	3,723
・汎用データ	-	1	10	1,210	1,244	1,253	1,390	1,704

- ・ 正会員数、準会員数とも堅調な伸びを示している。正会員は公的研究機関、学会、大学、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や、大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 令和 2 年度に続き各会員によって着実に DOI 登録が進められた。令和 3 年度の主な登録例としては、NII 機関リポジトリ（論文・研究データ等約 18 万件）、J-STAGE 利用学協会（論文等約 12 万件）、JST バイオサイエンスデータベースセンター（約 12 万件）、国立国会図書館（デジタルコレクション等約 3.7 万件）、国文学研究資料館（約 2.2 万件）、医学中央雑誌刊行会（約 1.5 万件）等。
- ・ Crossref に対し書籍・報告書（Books）として初めて登録があった。

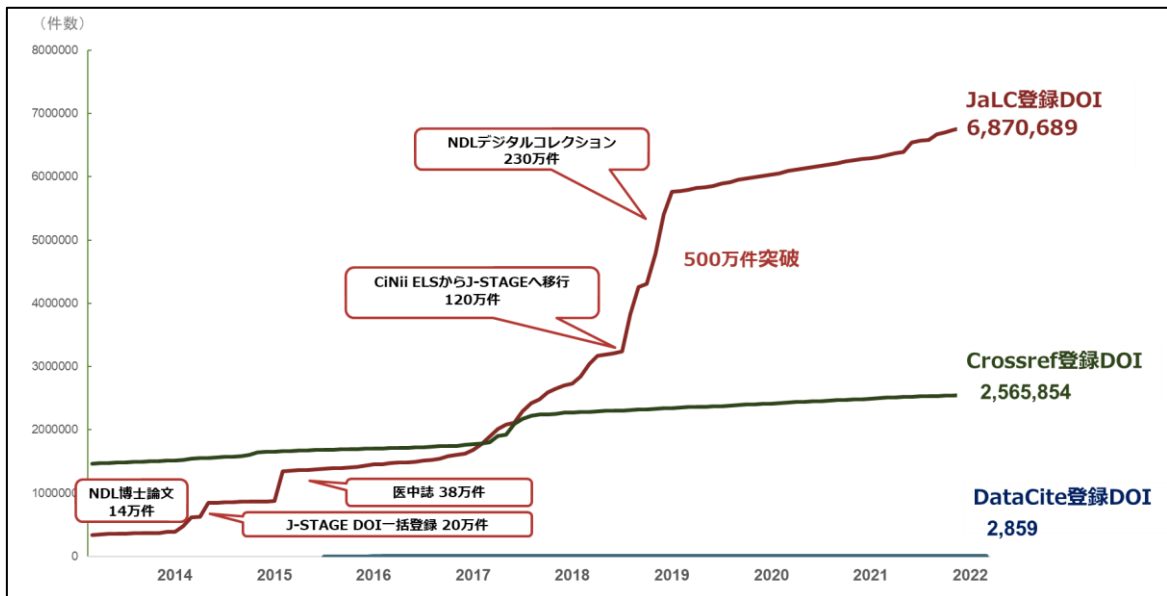


図 1. DOI 登録件数の推移（令和 3 年 3 月末時点）

(2) 入会対応業務

正会員としての入会希望の申し出を受けて、15 機関を対象に入会説明やデータ登録デモを行った。その結果、以下の 6 機関が新たに入会した。正会員としての入会に至らなかった機関についても、一部準会員として DOI 登録を開始した。

- 東洋大学現代社会総合研究所
- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館
- NTT 先端技術総合研究所
- 国立大学法人 大阪大学 蛋白質研究所
- 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所
- 日本医学会

4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務¹⁾

(1) メタデータオープン化に係る利用規約の策定および参加規約の改定

REST API のリリースや JaLC コンテンツ検索機能拡充等のメタデータオープン化の実施開始に伴い、JaLC のデータ提供サービス利用規約として以下を策定した。また、利用規約の策定に伴い、参加規約について表現の見直し等の改定を行った。いずれも令和 3 年 12 月 15 日施行。

- 正会員・連携機関向けデータ提供サービス利用規約
- 一般向けデータ提供サービス利用規約

¹⁾ ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号

➤ ジャパンリンクセンター参加規約 改定

(2) プライバシーポリシー等の策定

JaLCにおける個人情報の収集・取り扱い等について、これまで事務局であるJSTのプライバシーポリシーに準じていたが、JaLCの運用に沿ったプライバシーポリシー、サイトポリシー、ソーシャルメディアポリシーを新規に策定した。令和3年12月15日より有効。

(3) 普及・広報

- ① 表3のとおりDOIの普及・広報を行った。なお、今年度開催・参加したイベントはすべてオンラインでの開催であった。

表2.令和3年度の普及・広報

1	PIDs in Practice: National and International Perspectives (令和3年4月1日開催) ORCID-CA コミュニティマネージャーより依頼を受け、カナダのPID ウェビナー内セッションに参加し、事務局よりDOI やJaLC の紹介を行った。
2	RDA's 17th Plenary Meeting におけるセッション”PIDs of the world unite!” (令和3年4月21日開催) 中島委員より国内におけるJaLC や国内DOI 付与状況等の紹介を行った。
3	2021 年度DOI 財団オンラインミーティング (令和3年4月28日開催) DOI 財団からアジア圏RA 機関による発表の依頼があり、事務局よりJaLC におけるDOI 登録状況や運用状況等について紹介した。
4	Japan Open Science Summit 2021 (JOSS2021) にてJST が主催したウェビナー「PID-識別子の最新動向」(令和3年6月15日開催) にて、事務局よりJaLC や国内DOI 付与状況、PID 連携状況について紹介した。
5	RDUF 公開シンポジウム (令和3年11月22日開催) RDUF 会員や小委員会、部会による活動、成果物等の紹介や、研究データの利活用に係る招待講演等を行った。
6	ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(令和3年12月23日開催) 「DOI ・メタデータ登録運用と活用」をテーマに話題提供講演や意見交換を行った。
7	オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)における第4回学術コミュニケーションセミナー(月刊JPCOAR、令和4年1月25日開催)において、JaLCのメタデータオープン化について講演を行った。
8	J-STAGE ニュース48号において、JaLC REST API リリースに関する記事を寄稿した。

② JaLC NEWS の配信

JaLC 正会員に向けて、令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月の第三水曜日に JaLC NEWS (メールマガジン) を配信し、サービスのリリースやイベント情報等について情報提供を行った。

③ その他

JaLC より研究データ利活用協議会 (RDUF) へ研究データへの DOI 登録の促進等について議論を求めた結果、同協議会にて「研究データへの DOI 登録促進小委員会」が設置された。

— 以 上 —